
経済 TOPICS

No. 223

(2023年10月2日)

景気ウォッチング（要旨）

- 日本 … 消費は底堅く推移しているものの、生産や輸出が横這い圏内の動きとなっているほか、設備投資にやや弱めの動きがみられることから、全体としては回復テンポが鈍化している。この間、資源・食料価格の高騰に伴う物価上昇や海外経済の減速の影響が懸念されるなど、先行き不透明感の強い状態が続いている。
- 米国 … 生産は横這い圏内の動きを続け、住宅販売は引き続き減少しているものの、個人消費が堅調で、雇用のタイトな状況が続いていることから、全体としては緩やかな回復を続けている。この間、消費者物価は、サービス価格の粘着質な上昇圧力が続いている。
- 欧州 … 生産の弱めの動きが続いているほか、輸出が減少し、消費や設備投資の前年比プラス幅が縮小傾向にあるなど、持ち直しの動きが弱まっている。この間、消費者物価は、サービス価格の粘着質な上昇圧力が続いている。
- 中国 … 生産は横這い圏内を維持しているものの、不動産開発投資の大幅な減少が続いているほか、消費や輸出も減速していることから、全体として減速している。この間、生産者物価は前年比マイナスが続き、消費者物価は前年並みとなっている。



京都フィナンシャルグループ

京都総研コンサルティング
